

この度、町内会から推薦をいただき日本防災士機構の防災士試験を受講し、無事に防災士登録頂きました。私自身仕事が情報通信業界のため、防災における通信の重要性などを日頃から考える機会はありました
が、「地域の防災」という観点でどういった対策や心構えを日頃からすべきなのか、国や自治体の支援体制はどうなっているのかなど知らないことだらけだったこともあり、この度手を挙げさせて頂いた次第です。

有事の際、地域の結束は他に変えがたい大きな心の支えになると思います。防災士としてまだまだ勉強中の身ではありますが、日頃から地域の行事を通じて皆様と強い繋がりが築けるよう頑張っていきたいと思います。

今後とも、よろしくお願ひいたします。

牛田東2丁目 沖 佑磨

防災士

この度、広島

市防災士養成講座を受講し、認定を受けました。近年は自然災害が多く発し、被害が甚大化・広域化していることから、防災で大切なことは地域コミュニティの相互支援(共助)だということを学びました。

また避難所運営ゲームHUGは、避難所で起きる様々な出来事にどう対処していくかを模擬体験することで、とても参考になりました。

今迄は仕事中心で地域との関わりが少なかったのですが、これからは学んだことをもとに地域との関わりを深めていきたいと思っています。どうぞ宜しくお願ひ致します。

早稲田3丁目 藤鬼 伸子

防災士の講習や事前学習は大変ではありましたがあくまで有意義な経験でした。学習中に思い出したのは、平成30年7月豪雨災害で見た光景です。仕事で出向いていた東広島市、通い慣れた道路が各所で寸断され、あり得ない力で引き裂かれた大木が道端に転がり、木や泥のような臭いに包まれた中で、人の力では到底抗うことが出来ない自然の力を思い知りました。この学習で、災害時はまず我々ひとりひとりが自分自身と大切な人を守り、周りの方と協力し合ってお互いを助け合う行動が非常に重要だと学びました。そのために役立つのが普段の備えです。これから少しでもそのお役に立てればと思います

牛田東2丁目 木村 鋼介